令和6年度
(2024年度)

市立ひらかた病院の取り組み

<部長の方針・考え方>

本院は「心のかような医療を行い、信頼される病院」を基本理念に掲げ、患者の皆さんや地域の皆さんとの信頼関係を築き、安心と満足を得られる質の高い医療を提供することで地域に貢献するよう努めています。

現在、人員不足から2病棟を休棟せざるを得ない状況となっていますが、早期の開棟を目指すとともに休棟による医療サービスの低下や経営への影響を最小限に留め、政策医療や先進医療を提供する急性期病院として、地域における役割と責務を果たしていけるよう努めます。

あわせて、令和4年度に策定した「市立ひらかた病院経営強化プラン（第3次中期経営計画）」に基づき、持続可能な医療提供体制の確立に向け、病院経営の健全化に取り組んでいきます。

<部の構成>

- ・診療局、看護局、薬剤部
医療安全管理室、
医療相談・連携室
- ・事務局
総務課
経営企画課
医事課

<主な担当事務>

- (1) 患者の診療及び看護に関すること。
- (2) 薬品の検査、出納及び保管に関すること。
- (3) 病院の安全管理に関すること。
- (4) 医療相談及び地域連携に関すること。
- (5) 文書、人事、サービス、病院施設の管理に関すること。
- (6) 病院の経営、財務、契約に関すること。
- (7) 診療費請求等の医事業務及び電子計算組織の管理運営に関すること。

重点的な取り組み：診療体制の充実

本院は、新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ、救急医療や小児医療など、地域において政策医療を提供する急性期病院としての役割を担っていることから、政策的医療機能の維持・充実に努めるとともに、令和4年度には内視鏡手術支援ロボット“ダヴィンチ”を導入し、昨年度には術後患者などに効率的な治療を施すことを目的とした高度治療室（HCU）を整備するなど、急性期病院としての機能強化にも取り組んできました。

このほか、より専門性の高い医療を提供するための各種センター化も進めており、これまでの“消化器センター”や“下肢機能再建センター”、“音声外科センター”に加え、令和6年1月には他職種チームにより高度で最適な糖尿病医療を行う“糖尿病センター”を開設しました。

こうした取り組みを充実・強化するとともに、新興感染症等への取り組みとして、感染症専門医を確保し、第二種感染症指定医療機関として、地域における感染症対策の中心的な役割を担う体制づくりを行います。

重点的な取り組み：地域連携のさらなる推進

本院は、かかりつけ医等への支援を通じて地域医療の確保を図る“地域医療支援病院”として、地域の中心的役割を担うべく取り組んできました。

今年度においても、紹介率及び逆紹介率の向上を図るため、地域の医療機関からの患者の受入れを積極的に行っていくことは勿論、医療機関への訪問や各種講座やセミナー等を通じ、地域の医療機関と顔の見える関係を築くなど、より一層、信頼関係を高めることで、地域での役割を果たすと同時に地域完結型医療の推進に取り組んでいきます。

また、急性期病院として地域医療を支えていくため、長期入院患者の転院先となる、地域の回復期病院・慢性期病院など後方支援病院の確保及び連携強化の取り組みについても進めていきます。

取り組みの成果を測る指標	令和6年度目標値	令和5年度実績（参考）
紹介率	80%	67.4%
逆紹介率	90%	79.4%

重点的な取り組み：医療情報システムにおけるDX推進とセキュリティ対策強化

令和6年度診療報酬改定により「医療DX推進体制加算」が新設されたことを踏まえ、マイナンバー保険証への移行を円滑にできるよう周辺環境の整備に努めるなど、院内のDX推進に積極的に取り組みます。

また、サイバーセキュリティ対策として、これまで不正接続制御やサイバー攻撃を検知する機能、オフラインバックアップを実装するなどの対策を講じてきたところですが、今年度はサイバー攻撃を想定した事業継続計画の策定や、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理ガイドライン」に沿った部門ごとのマニュアルの整備など、さらなる実効性を伴ったセキュリティ強化に努めます。

重点的な取り組み：情報・魅力の積極的な発信

北河内医療圏における中核病院としての役割をはじめ、地域医療支援病院やがん診療拠点病院としての機能、専門性を追求する医療提供体制など、本院の「強み」を広く理解いただくため、病院ホームページや情報誌「かわせみ」、市民公開講座やオープンセミナー、くらわんかフォーラム等の行事を通じ、積極的に情報を発信していきます。

また、本年は新病院開院から10周年にあたるため、これを記念する事業の実施や、InstagramなどSNSも活用し、医療機能だけでなく多様な視点から本院の魅力を広く発信することで、地域から信頼され、選ばれる病院となるよう努めます。

重点的な取り組み：患者サービスの向上

待ち時間の有効活用の観点から導入した、来院時の受付番号をもとに診察の進行状況を可視化する「診察順番表示システム」について、更なる利用促進を図るため、広く周知に努めます。

また、増加する外国人の患者さんに快く受診や療養をしていただけるよう、現在の医療通訳ボランティアの派遣やタブレットによる遠隔地医療通訳システムに加え、印刷物や案内表示について多言語化を図るなどの環境整備に努めます。

このほか、患者さんアンケートの結果等を踏まえ、院内で定期的に行っているサービス向上委員会等で議論を重ね、患者サービスの向上に努めます。

重点的な取り組み：働き方改革の推進及び誇りとやりがいを持って働く職場環境の醸成

本院では、医師の働き方改革への対応に向けた取り組みをはじめとする医療従事者の負担軽減や処遇改善を実施するなど、職員が働きやすい職場環境の整備に取り組んできました。

看護師において昨年度から開始した特定行為研修の更なる拡大など、職種ごとにスキルアップが図られるような各種研修を充実させるとともに、メンタルヘルス研修及びハラスメント防止研修の開催や職員満足度調査の実施などを通じて、本院で働く職員が誇りとやりがいを持って働き続けることができる環境を醸成するための取り組みを進めます。